

【参考資料】 平成22年度 実績報告(恵南森林組合)

作成日:平成23年4月28日

施業集約化	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	144.29	43.11	29.9%	H23予定:171ha	人工林:施業同意レベル 天然林:長期受委託レベル
いつ	4月~3月	4月~3月		エリアごとに調査・測量を実施後、個別訪問にて図面等と併せて報告・営業を行う。 森林組合職員及び森林組合任命の森林整備推進員(3名)による働きかけを強化する。	
誰が	施業集約化担当: 小林太郎	施業集約化担当: 小林太郎			
どういつ方法で	個別訪問	個別訪問			

植栽	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	1	0	0.0%	ha当り2,000本を予定。	
いつ	-	-		H24・4月予定:3ha(長期育成循環施業地) 恵南森林組合 沢部は植栽の他、地域に自生する広葉樹の天然更新を誘導し、針広混交林化を図る。 その他の伐採跡地は、ヒノキを植栽する。	
誰が	森林整備担当: 山田昭文	-			
どういつ方法で	環境林は広葉樹、 生産林はスギ・ヒノキを天然更新・ 植栽	-			

下刈・除伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	2	0	0.0%	H25予定:30ha	
いつ	7月~9月	7月~9月		下刈は、夏期に植栽後2年目以 恵南森林組合 下刈は、植栽後2年目から5年間 毎年実施する。	
誰が	森林整備担当: 山田昭文	-			
どういつ方法で	適期に実施し植栽 木の生長を促進	-			

切捨間伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	80	42.71	53.4%	H23予定:157ha	
いつ	4月~3月	4月~3月		年間を通じて切捨間伐を行う。 恵南森林組合 沢部を中心に強度の間伐率にて実施。下層植生を促し、土壌の安定を図る。	
誰が	森林整備担当: 山田昭文	森林整備担当: 小林太郎			
どういつ方法で	既設市道等へ搬出できない箇所を切捨間伐	水源地の3林班中、2林班を実施			

利用間伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	28	0	0.0%	H23予定:45ha	
いつ	4月~3月	4月~3月		梅雨、降雪期間を含めてできる限り年間を通じて素材生産を行う。 恵南森林組合 林道・作業道を中心にした架線集材を積極的に行う。	
誰が	森林整備担当: 山田昭文	-			
どういつ方法で	既設市道等へ搬出できる箇所は利用間伐	-			

主伐(択伐)	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	-	0.4ha	-	H23予定:3ha	
いつ	10月、3月	10月、3月		適期に伐採を行う(記念市や市場担当者との調整を行いながら)。 恵南森林組合 森林所有者に対し施業収支を明らかにした森林施業プランを提案し、施業集約化を推進する。	
誰が	森林整備担当: 山田昭文	森林整備担当: 山田昭文			
どういつ方法で	長期育成循環施業(帯状伐採)	長期育成循環施業(帯状伐採)			

作業道開設	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	W=3.6m、L=1,670m	W=3.6m、L=0m	0.0%	H23予定:L=2,700m	
	計 L=1,670m	計 L=0m	0.0%		
いつ	4月～3月	—	/	恵南森林組合	
誰が	森林整備担当: 山田昭文	—			
どういう方法で	設計・施工:地元 土木業者 管理:恵南森林組 合	—			

素材生産	新規チーム設立(H21)	内容			
新規構築作業システム(機械の組合せ、種類・規格・台数)		<架線系>伐倒、造材:チェンソー→集材:タワーヤーダ→積込:グラブ(0.45)→トラック(8t)			
素材生産チームの人員数(人)	実施前 → 実施後 (H21) (H22)	1チーム(3人/班)		1チーム(3人/班)	
実稼働日数(日)		132		24	
素材生産性(m <sup>3</sup> /人・日)		3.58		2.18	
素材生産費(円/m <sup>3</sup> )		H22計画(実績) 間伐:7,900(-)円/m <sup>3</sup> 主伐(帯状):7,200(12,500)円/m <sup>3</sup>			
年間素材生産量	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
モデル団地内	1,700m <sup>3</sup>	157m <sup>3</sup>	9.2%	H23予定:2,700m <sup>3</sup>	
モデル団地外	—	7,985m <sup>3</sup>	—		
合計	1,700m <sup>3</sup>	8,142m <sup>3</sup>	478.9%		

上記のほか、プロジェクト推進のために講じる具体的取り組み					
計画	実績	達成度検証方法		今後の対応	
地域にあった施業体系の確立	未実施	調査結果を地位別樹高曲線等を活用して解析し、今後の施業方針を決定(単位:箇所)。		H23定点観察地点(3箇所/年)林分調査を実施。	
地域にあった作業道開設方針の確立及びガイドラインづくり	未実施	定点観察による経過調査(単位:箇所)。		50mm/hを超える降雨後等に開設箇所を巡回し、耐久性を調査。	
低コスト作業システムの確立	タワーヤーダの利用	コスト分析シート等による検証(単位:箇所)。		架線系新システムを実施。	
林分調査手法の確立	未実施	素材生産の計画数量と実績の比較(単位:箇所)。		H23毎木調査による計画数量の検証(2箇所/年程度)。	
定点観察(林分調査・谷水濁度調査)	未実施	調査結果を地位別樹高曲線等を活用して解析し、今後の施業方針を決定(単位:箇所)。作業道開設に伴う谷水への影響を調査(単位:箇所)。		H23林分調査を実施(3箇所/年)。濁度調査を実施(3箇所/年2回)。	
森林施業計画による地域森林管理体制の構築(総合森林整備計画の手法確立)	未実施	採算性が合う計画的な森林整備を実施(単位:回)。		集約化から施業までの結果を検証。林分・境界調査の結果を組合のGIS及び県の森林簿に反映させる。	
所有者に対するアンケート調査	未実施	所有者の満足度把握(単位:回)。		エリア内の在村所有者を対象に聞き取り調査を実施。	
恵南森林づくり協議会(PCDAサイクル)	未実施	団地外への森プロの普及(単位:団地)。		協議会を開催し、森プロの検証と普及を図る(H23年度中に1回/年)。	
串原中学校に対する林業教室の実施	未実施	中学生の森林づくりに対する理解度把握(単位:人)。		H23年度の実施に向けて準備。	
環境貢献(廃棄資材処理・林内清掃)	各現場において実施中。	ミーティングにおいて各自が報告(単位:回)。		引き続き実施。	
マスコミ・HP・広報誌等を活用した情報発信	未実施	マスコミ等による取材件数		引き続き各種情報発信に努める。	
建設機械レンタル会社との連携	未実施	建設機械のレンタル価格の10%値下げ(単位:%)		再検討	
合板工場に向けた対応	未実施	建設機械のレンタル価格の10%値下げ(単位:%)		事業地及び供給方法を検討。	
長期育成循環施業の活用	事業実施(伐採0.4ha)	実施面積(単位:ha)		H23年度は残りの伐採。H24年度に植栽予定。	
育成天然林施業の実施	未実施	実施面積(単位:ha)		再検討	
団地内材を使用したベンチの贈呈	未実施	贈呈台数(単位:台)		再検討	